

わしたしまの情熱キーパーソン



行政の人たちと地域みんなが一緒になって動けば、地域はより快適に、もっとハッピーに。このコーナーでは、そんな地域づくりに取り組む地域住民と行政担当者の「協働」について紹介していきます。

宜野湾市

読み聞かせのボランティアを育成。絵本を介して親子の絆を深める

宜野湾市は、絵本を介して親子のコミュニケーションや絆を深めようと、平成二十年に「宜野湾市子育て支援ブックスタート事業」を立ち上げました。

宜野湾市民図書館館長の伊波真昌さんは「ボランティアを中心に全国的に実施されている事業で、以前から市にも導入を希望する声が寄せられていました。その要望を受けて関係部署で話し合った結果、本年度から市民図書館が主管となり、健康増進課や保育課と協力しながら、実施



乳児一般健診風景。受診後はブックスタートの会場へ

されることになりました」と振り返ります。

事業開始前に読み聞かせのボランティアを募集し、半年間の研修を実施。十月には第一回目を開催しました。乳児一般健診(後期)を受ける九〜十カ月のお子さんと保護者の方を対象とし、同健診の通知と一緒にブックスタートの案内を同封。対象者が気軽に足を運べるように、健診当日、保健相談センター内にブックスタート会場を設置しました。絵本の読み聞かせが終わると、参加者には絵本一冊と「子育てアドバイス集」がプレゼントされます。

現在、二十七名のボランティアが登録しており、退職教員や保育所のOB、PTA関係者、大学生など、幅広い年齢層の子とも好きな方々が集まりました。その一員である山内淳子さんは、三十年ほど前から沖縄県子どもの本研究会で読み聞かせの活動を続けてきた実績があり、宜野湾市での実施に向けて尽力した一人でもあります。「この活動のメインは子どもとどう接するかということ。絵本はツールに過ぎません。会場では、赤ちゃんと保護者とボランティアが



絵本の読み聞かせでは表情豊かに反応する赤ちゃんの様子にびっくりするお母さんも多い

一組ずつテーブルに着き、ボランティアが絵本の読み聞かせをしています。参加者の反応もよく、やりがいを感じています」とこやかに話す山内さん。伊波館長は「この事業を足掛かりとして、赤ちゃんと一緒に気兼ねなく図書館が利用できるような雰囲気づくりに努めていきたいですね」と今後の取り組みに意欲を見せています。



伊波館長(後列左端)と図書館スタッフ、ボランティアのみなさん。前列右端が山内淳子さん

宜野湾市民図書館
TEL:098-897-4646

中城村

八十歳以上の高齢者を支援する「ふれあい事業」をボランティア主体で実施

中城村では地域のボランティアを主体とし、八十歳以上の高齢者を支援する「ふれあい事業」を推進しています。

「月に一回、公民館などに集まってレクリエーションやユンタク(おしゃべり)を楽しんだり、時にはピクニックに出かけたりしています。活動内容に関しては、各自自治体のボランティアにお任せしていますが、健康チェックのため、村から保健師や看護師が現場に向き、活動を見守るようになっています」と村福祉保険課健康増

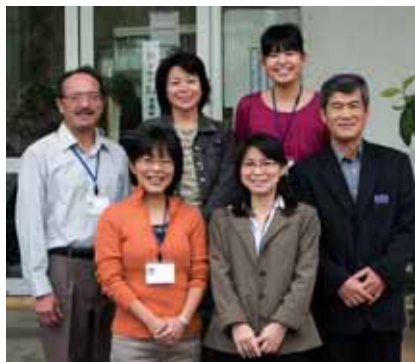


忘年会では対象者とボランティアが一緒になって、カラオケや踊り、ビンゴゲームなどを楽しみました

進係の比嘉昌子さん。

村では同事業実施以前から、保健所や社会福祉協議会、老施設などとの関係機関と協働で、地域のネットワークづくりの推進や高齢者への支援体制の確立に努めてきました。同課関係の與儀智枝美さんは「平成六年から八年まで、当間公民館で地域住民を対象とした健康教育を月一回、実施していました。その後、地域のお年寄りのために何かできないかと話し合ったことがきっかけで、同事業が実施されることになりました」と振り返ります。その後、他地区でも健康教育を実施し、これまでに七つのボランティア組織が結成されています。

伊舎堂地区のボランティア組織である「伊舎堂がじまる会」は平成十五



福祉保険課のみなさん。前列左が比嘉昌子さん、右が與儀智枝美さん

年に結成。対象者は八十歳以上の高齢者の他に生活習慣病の後遺症を抱えた人たちなどです。ボランティアは六十〜七十代が多いですね。活動内容は多岐に渡り、地域の子どもたちとのふれあい事業や他団体との交流会なども企画しています」と同会長の安里清一さん。また副会長の比嘉恵子さんは「七十歳で足が不自由でも、ボランティアとして参加している方もいます。話し相手になるだけでもいいと思うのです。『自分のできることを』をモットーに、ボランティア参加者も楽しんでいきます」といきいきと話します。

村では、今後もボランティア精神の育成に努め、同事業の広まりを目指しています。



伊舎堂がじまる会のみなさん。後列左から1人目が安里清一さん、4人目が比嘉恵子さん

中城村役場 福祉保険課健康増進係
TEL:098-895-2131

編集後記

今年には家族全員で宜野湾市の横浜ベイスターズのキャンプを見に行きました。やはりプロの技術は素晴らしいです。娘も「野球してる」と喜んでいました。今年の草野球の大会は良い結果が出せそうな予感がしています(ツア)

今年の春から小学生になる我が娘。最近アニメ映画「崖の上のポニョ」の主題歌がお気に入り。歌が入り、どこでも入り構わず口ずさむようになりました。それはそれで微笑ましいのですが、外出時など、人前で突然、僕のお腹をつつきながら「ポニーポニーポニー」歌うのはやめてください(涙) (ツア)

沖縄県広報誌 平成21年3月1日発行第33巻3号通巻402号

美ら島沖縄

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2
TEL.098-866-2020

■表紙 写真・文:今泉 真也

水が陽気に温みだすころ、田植えが始まる。こどもにとって泥は最高の友だち。自給が大切になってくる時代、いのちをはぐくむ田んぼの水風景を、沖縄に呼びもどしたい。

■P12-P13 季節情報提供

(財)沖縄観光コンベンションビューロー



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中!



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中!